

日本福祉大学松本オフィス

松本オフィス通信

第10号

■入学式・県人会	1	■先輩！こんにちは	3
■学生奮戦記！	1	■岩手県大槌町へ古書送付	3
■サークル活動	2	■長野県地域同窓会 総会&セミナー開催	3
■あなたの街の高校訪問 - 松商学園高校 -	2	■茅野市美術館	4
■2012 信州+	3	■インフォメーション	4

長野県出身の学生奮戦記！

長野県から122名が日福大へ

4月1日、大学生活に期待をシヨンや県人会の顔あわせ会ふくらませた新入生の入学式が美浜キャンパスで行われ、1348名が大学の門をくぐりました。長野県からは、52校・122名（編転入学者含）の学生が入学。翌日からの、新入生オリエンテ

よこそ福祉大に

長野県人会長 種山 裕美

平成24年度の県人会長になりました、社会福祉学部社会福祉学科3年の種山裕美です。昨年度から新カリキュラムが導入された関係で社会福祉学科と保健福祉学科は一つになりました。そのため、私たちの学年が最後の社会福祉学科と保健福祉学科の卒業生になります。



私は、滝蔵というバレーボールサークルに所属しています。このサークルは、毎週日曜日に活動しています。経験者も初心者も男子も女子も関係なくバレーボールを楽しんでいて、とても仲の良いサークルです。長野出身の人も多いです。

私は、人の役に立つ仕事がしたいという思いから日本福祉大学に入学しましたが、将来やりたい仕事 구체적인ものがなかったため、始めは自分と将来のために勉強している人との間には大きな差があるように感じていました。そんな時、祖父のお見舞いで病院に行くことがありました。その病院では若い作業療法士の人たちが笑顔で患者さんと接していました。自分と年の近い人が働いている姿を見てとても感動したことがあり、そこから医療の領域で福祉の専門家として働くことが将来の夢になりました。社会福

社の学びを役立てたいと思い、社会福祉士の資格を取得することを目標として、いま学んでいます。

私は、滝蔵というバレーボールサークルに所属しています。このサークルは、毎週日曜日に活動しています。経験者も初心者も男子も女子も関係なくバレーボールを楽しんでいて、とても仲の良いサークルです。長野出身の人も多いです。

日本福祉大学は、北海道から九州、沖縄まで全都道府県出身の学生がいるので、いろんな地域の人と関わることで、とてもいい経験になります。長野県人会も、長野県のいいところを発信していきたいと思っています。

その一環として長野県人会では、大学祭で豚汁やりんごの販売をしています。この他にも長野県人会は長野県出身者の交流の場としても大きな役割をもっています。県人会に参加してくれる人が増えるといいと思います。

社会福祉学部社会福祉学科 3年
大町北高校出身



半田キャンパスでも県人会！

また、新たな試みとして、今年から半田キャンパスでも県人会を開催しました(上の写真です)。今年度、半田キャンパスに入学した長野県出身学生24名

長野県が大好き

経済学部経済学科2年

西澤 晴菜

入学前は、経済II男子のイメージがありオープンキャンパスへ行ってもなかなか経済女子の先輩がいなくて、同級生で女子は入るのか、心配性の私は不安でした。2、3月に大学で主催される企画に参加し、数人の経済女子の友達が入学前にできました。こうした企画も日福ならではの魅力です。

そんな中、私の学年は24人の女子が入学しました。人数が少ないからこそ、その団結力は強く女子会を開いたり、授業をはじめお昼や休日も皆と過ごすことが多いです。また、大学祭では経済女子でお店も出店しました。先生たちにもすごく好評で、とてもいい思い出になりました。

コース選択では、地域経済コースを選びました。私は長野県が大好きです！地元長野で、地域の活性化に携わりたくて考えています。そのためにも、自分に力をつけて、大学生活の中でたくさん経験を積みみたいと思います。今年も、頑張っていきたいと思います！

須坂商業高校出身



弦楽アンサンブルで得た物

宮沢 まどか

3年間と少し大学生活を送ってきた中で、学び・生活等あらゆる面で手助けになったと感じるのはサークル活動です。

私は日本福祉大学の芸術・文化系サークル「弦楽アンサンブル」に所属しています。その名の通りヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの四種類の弦楽器を、総勢8名のメンバーが演奏をするサークルです。

ゼロからのスタート

メンバーの大半が弦楽器初心者、クラシック音楽もわからない...という状態から出発。それでも先輩方のご指導や同期との切磋琢磨で日々研鑽を積み、毎年12月には初心者も1年生も演奏に参加する定期演奏会を行っています。施設や病院での訪問演奏やイベント参加等の学外での活動も盛んで、昨年の11月には、宮田村で行われた「宮田村・日本福祉大学友好連携10周年記念式典」で演奏をさせていただきました。貴重な体験となりました。音楽経験者が少ない圧倒的に困難な状況でも、継続し

アメリカンフットボール主将として

平澤 文彦

私の大学生活において、最も時間を費やしているのはサークル活動です。アメリカンフットボールという人と人がぶつかり合いながら一つのボールをエンドゾーンまで進めていく荒々しさと、1プレーごと決められた陣形、動きを仲間と共有し、いかに相手を攻めるか、相手の攻撃を封じ込めるかの駆け引きを競う緻密さの両方を楽しめる熱く、知的なスポーツにうちこんでいます。

チームを率いる難しさ

入部のきっかけは入学前の新歓企画でアメフトの先輩と知り合えたことから。辛い練習はありましたが、面倒見の良い先輩や面白い同期の友人に囲まれ、1年目は2部優勝、2年目は1部昇格という良い成績を挙げられました。3年目は実質私達が最上級生となってチームを動かしていくことになり、私自身、主将としてチームを率いる立場になり、部員をうまくまとめられないこと、



て練習すれば人前で演奏できるという事実が私にとって大きな自信となり、強みにもなりました。

サークル活動での経験を励みに

私は現在卒論執筆に向けた地域福祉に関する研究や、就職活動を主とした大学生活を送っています。どちらも、なかなかうまく進まずゴールが見えない状況が続いています。そんな時にふと思いつくのが、演奏が成り立つかどうか危うかったサークルの事です。地道に基礎練習を続けるだけでなく、舞台を踏む経験をする事。一人で考え込まず、メンバーと協力して音楽を作り上げること。聴いていただく方への最大限の感謝と、意見を受け止める謙虚な心を持つこと。

私がサークル活動を通して学んだこれらのことは、すべてこれからの行動の指標になると考えています。



社会福祉学部社会福祉学科4年 飯田高校出身

チームの運営に携わることの難しさに触れ、人を動かす、物事を動かすことのもどかしさ、辛さを経験してきました。自分の未熟な面を痛感させられ、心が負けそうになりましたが、部員をはじめ多くの人に支えられ、活動を続けられました。結果は2部降格でしたが、サークル活動によって自身が今まで経験できなかった事を経験でき、成長したことも多かったです。今年で4年目、最後の年となりました。昨年の経験を糧に、今年、1部リーグ復帰をめざして、一年間悔いのない活動をしていきたいと思っています。

サークル、ゼミ、勉強、遊び

最後に、サークル活動だけでなく学業も卒業論文(ちなみに私のゼミでの研究テーマは「トイレットの普及について」です)や社会福祉士の国家試験対策もあり、毎日がとても充実しています。その間にアメフトやゼミの仲間と遊ぶことも、私の生活を濃いものにしていきます。体験し、学び、人と繋がる大学での4年間を、新入生には有意義に過ごしてもらいたいと思います。

社会福祉学部社会福祉学科4年 飯田風越高校出身



あなたの街の高校訪問 松商学園高校

表現の可能性に挑む!

3. 11東日本大震災における原発事故は、チェルノブイリ、スリーマイル島事故とともに、世界的な深刻な事故となりましたが、1986年のチェルノブイリ原発事故から10年後に日本の高校生が現地取材を行って、原発問題を社会に向けて発信しました。この活動はさらに「高校生が見たチェルノブイリ」として出版されました。それが松商学園高校放送部でした。

こうした活動は、高校生がクラブ活動を通してどこまで自分たちの可能性を示すことができるか? そんな疑問に具体的なカタチで一つの答えを示したものだといえます。

放送部、というと、昼休みに校内放送したり...という「古典的な」活動を思い浮かべますが、それとともに、実は最も情熱を注いでいるのが「表現」活動です。それはラジオ局やテレビ局が、ニュースを放送するだけでなく、ドキュメンタリーを作ったりあるいはドラマ化してみせたりしているように、放送部は学校のなかのラジオ局であり、テレビ局でもあるのです。

というのも、放送部の活動の「甲子園」として、毎年NHK杯全国高校放送コンテストが開かれ、その中にラジオ、テレビの二つのドキュメント部門、同じくラジオ、テレビの創作二部門とアナウンス、朗読の部門があつて、その一番組制作などが大きな目標なのです。昨年は県大会の番組4部門で最優秀賞、全国大会ではラジオドキュメントで準優勝を手にしたのです。部員は毎年60人前後。部門ごとにグループを構成し、もう一つの柱である全国高校総合文化祭にむけた活動も展開しています。

「番組制作」にあたって、各グループごとに、一人ひとりが、考えたテーマ、プランを企画書として提案するのですが、そこでは視聴者の関心をひく問題かどうか、という話題性とともに、例えばビデオメッセージやテレビ部門では、番組として「写せるか?」という映像化の問題も問われることとなります。この議論がなかなか厳しいんです、と顧問の百瀬先生が語られていました。

戦没学生の手記「きけわたつみの声」に遺書が残されている安曇野出身の上原良二を取り上げたり、「いま証言を残しておかなければ記憶は永遠に失われてしまう」という想いから、特攻兵器「回天」の乗員の方の聞き取りを番組化したりするなど、放送部は意欲的な活動を展開してきました。また、地域のお年寄りの方を招待して校内で交流会を開いたりするなどその活動は活発です。さらに、学校紹介のビデオを制作して、中学生の学校見学にも提供するなど、松本地域と学校にしっかりと根付いた活動をすすめています。

松本市で開催された商店街映画祭にも作品を出品。インタビュを受ける部員の二人。



いよいよ新学期が始まりました。長野県出身のみなさんに、信州からメッセージを送ります。その名も「2012 信州+」。さまざまな学生参加のフィールドワークを紹介して、みなさんの学生生活の充実と未来戦略をサポートする取組です。

まじめに授業に出る、バイトもやる、サークルにも加わる…だけでは、見えてこない世界がある。そんな未知のゾーンに踏み込んで、県下全域の“地域”と“現場”に関わって、自分の世界をひろげてみよう！

あなたの学生生活に信州をプラス！信州のために、あなたの学生生活をプラス！



北信では…

小布施の知的障害者施設「くりのみ園」では、米づくり、野菜づくりを進めています。

こうした農産物の加工、販売によって、県内の知的障害者施設で働く人の平均賃金の2倍近くまで確保できるようになりました。

- 課外実習で学生を受け入れています、さらに
 - *福祉と農業の関係を実際に見てみたい…
 - *農産物加工品の販売・普及に協力したい…
- など、様々な課題に参加できます。

上伊那地域では…

辰野町(川島地区)の地域づくり、宮田村の村づくり、昨年からは始まった高遠町のまちづくりに関する高遠高校との共同作業など、学生が参加したプロジェクトが進行しています。

上伊那地域では主に経済学部の学生が活躍していますが(産業分野を中心に)、一昨年から、宮田村の子育て支援事業を大学がサポートしてきています。

福祉や保育の分野で、上伊那との結びつきを求めている人も、ぜひ参加して下さい。

宮田村は、名古屋市内の覚王山(かくおうざん)商店街でも販売実験を行っています。

東信では…

上田の障害者施設「風の工房」は、県内の施設の中でも、障害者の“表現活動”にいち早く取り組んできました。アトリエでは、多くの障害者が様々なアート活動を行っています。美浜キャンパスでも、その作品紹介をしてきました。

- *現場に行き、作品を見てみたい…
 - *大学祭で「風の工房」の製品を売ってみたい…
- など、新たな課題に取り組んでみませんか？

諏訪地域では…

高齢者の健康と生きがいの創造にむけて、県下でも先進的などりくみをすすめている茅野市では毎年9月、全国的に見ても例がない高齢者写真展が、市美術館で開かれています。昨年秋には、初めて美浜キャンパスで、同写真展も開かれました。

この写真展の運営を担っているのは、茅野美術館を支えているNPO団体。

- *夏休みを利用して、美術館の企画展に関わってみたい…
 - *美浜キャンパスの展示を手伝う…
- など、あなたの出番を待っています。
- 写真展の監修は、写真家の木之下晃氏。本学卒業生で、世界中の音楽家の写真を撮り続けてきました。



大槌町行き古書が詰められた箱。

下伊那地域では…

今年から新しく、阿智村の高齢者集落調査に参加することになりました。長野県の全域で、中山間地域の集落では高齢化が一段と進行しています(「限界集落」という人もいます)。

買い物、暮らし、交通、健康などさまざまな困難を抱えた集落の中で、住民の方たちから、将来に向けた展望、見通し、解決すべき課題などをうかがい、まとめていく福祉分野のフィールドワークです。

あなたも一緒に取り組みませんか？

先輩！こんにちは -辰野町ボランティアセンター訪問-

連携協定を結んでいる辰野町のボランティアセンターに、保健福祉学科第一期卒業生・赤羽美香先輩を訪ねてお話を伺いました。

辰野町域前通りにあるセンターに伺ったのは4月24日。通りの桜並木は満開。ボラセン共同企画「城前のサクラ・長寿化プロジェクト」の一環として、ボランティアの方たちがさくら茶を振舞い、町内の老人施設の方たちが、さくら茶のティーパーティーを楽しまれました。

町のボラセンの特徴は何と云っても参加者の広がり。地域づくりをめざす組織から編み物グループまで多様な活動が集まっているそうです。参加者は六六〇〇人を超えている！ボラセンは町の社会福祉協議会の中におかれています。協議会の中におかれていますが、ここの活動を反映して、社会福祉協議会の施設とは別に、ボラセン独自の建物がつくられ、これは県内で長野市に続いて二番目に早かったとのこと。現在参加団体は九九団

体。ウクレレ、大正琴、三味線、コーラス、ハーモニカ、フルートなどの音楽グループの他、腹話術の会、人形劇グループも施設等での活動を活発にすすめています。福祉分野でも手話サークル、高齢者の方たちにお弁当を届ける「ほのほのランチ」グループ、地元辰野高校のJRCクラブや豊南短大の音楽愛好会も参加しています。

高齢者の方たちが集まっているサークル百笑会(ひやくしょうかい)というグループは、誕生会や小物づくりなどのほか、郷土史の学習まですすめていて、ボラセンの活動はサクサクのように満開です。

「ネットワークを広げて、つばやきをカタチにし、みんなで取り組むを大切にしたい」と赤羽さんは語っています。



辰野町ボランティアセンター

岩手県大槌町に 図書を送付しました

大槌町の図書館は、3.11大震災の津波で、壊滅的な打撃を受け、5万冊余の図書が全部流出しました。松本オフィスでは、市民の方々から寄せられた古書のうち、大槌町教育委員会から希望のあった291冊と図書データを新年度を前にお送りしました。

同町の図書館再建はまだこれから課題ですが、4月からは仮設団地を巡回する移動図書館の取り組みが始まっています。これからの支援を続けます。

県内卒業生による 第3回研究集会を開催

2月末、松本市で開かれた研究会には、市民の方や春休みで就活中の学生、保護者の方など40名近い参加者がありました。記念講演は社会福祉学部准教授の原田正樹先生による、「これからの地域福祉、東日本大震災をふまえて」というもの。学長補佐として、大学のボランティアセンターの学生とともに被災地支援を継続し、現地での活動をふまえて講演は、これからの地域コミュニティの



この日の研究集会は、岩手県大槌町教育委員会から古書が送付されたことを受けて、大槌町教育委員会から希望のあった291冊と図書データを新年度を前にお送りしました。

あり方を考える上で、示唆に富むものでした。同窓生の実践報告は、いずれも現場にしっかりと根ざした実践として注目されました。なかでも就職して1年目の赤羽志保さん(長野県社会福祉事業団)の活動報告があり、ベテランの卒業生だけでなく、若い世代のいきいきとした事例報告にも大きな拍手が寄せられました。

茅野市美術館 寿齢讃歌 -人生のマエストロ-

おいちゃん・おばあちゃんの写真を写そう! 写真展Ⅶ

あなたの写真が写真集に!
現在、写真募集中

【募集要項】

- ◆テーマ 人生を積み重ねた高齢者の奥深い表情や生活を営む姿を撮影する。被写体はおおむね80歳以上の方々。
- ◆応募資格 年齢、性別、国籍、プロ、アマを問わない。
- ◆参加費 一般:1人1枚の場合、2,000円 2枚の場合、3,000円
高校生以下:1人1枚の場合、1,000円 2枚の場合、1,500円
※参加者の方には作品集を1人1冊と展示された大判プリント写真を差し上げます。
- ◆応募期間 2012年5月2日(水)～5月31日(木)
- ◆応募方法
茅野市民館事務室にて参加費と一緒に作品を提出してください。
郵送の場合は、作品を厚紙等に挟み折れないように送付してください。
参加費は、下記の郵便振替口座にお振込みください。(要手数料)
【口座番号:00550-5-38172 加入者名:株式会社地域文化創造】
応募規定等、詳しくは、茅野市美術館までお問い合わせ下さい。
- ◆茅野市美術館 (茅野市民館内)
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号
TEL 0266-82-8222 FAX 0266-82-8223
HP <http://www.chinoshiminkan.jp>

寿齢讃歌Ⅶ-人生のマエストロ-

- ◇主催 茅野市美術館、茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
- ◇企画制作 NPO法人サポートC 美遊com.
- ◇協賛 日本福祉大学、株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン、エクセレントライフ株式会社、株式会社リゾートケアハウス蓼科、JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター、社会福祉法人 平成会 茅野市、茅野市教育委員会、茅野市社会福祉協議会、株式会社日本カメラ社 信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、エルシーブイ株式会社、中日新聞社
- ◇後援

茅野市美術館では、音楽写真家である木之下晃氏のコーディネートによる写真展「寿齢讃歌-人生のマエストロ」を2006年から開催しています。今年で7回目を迎えるこの企画は、おおむね80才以上の方々を被写体とした公募写真をモノクロデジタルデータ化し、木之下晃氏の講評会(写真のトリミングやコントラスト調整の指導)を経て、大判デジタルプリント(600mm×600mm)に出力して茅野市美術館に展示されます。

この写真展は賞を与えるコンテストではなく、人生がうつしだされるお年寄りの表情を大切に記録し、写真集にまとめて未来の遺産にしておくことを目的としています。

是非この機会に、生き生きとした表情のおじいちゃんやおばあちゃんにカメラを向け、撮られる人も、見る人も元気になるような写真を撮ってみませんか？

Profile

木之下 晃 Akira KINOSHITA



木之下 晃氏

1936年長野県諏訪市に生まれる。諏訪清陵高校卒業後、日本福祉大学で学ぶ。中日新聞社、博報堂を経て、フリーの写真家となり、音楽関係の写真を専門に国内外で活躍。2009年、4月より日本福祉大学客員教授。

インフォメーション

進学相談会のお知らせ

新しい学年での生活がスタートしました。受験生となった3年生は、実際に大学を見に行ったり、各大学のパンフレットを取り寄せたりと少しずつ受験に向けて準備が進んでいるかと思えます。

- ・自分にはどの入試方法があっているの？
- ・学費はどのくらいかかるの？
- ・将来、長野県で就職はできるの？



そんなお悩みを解決するために、下記の日程で進学相談会を開催します。また、AOガイダンス、奨学金制度の説明会も併せて行いますので、お気軽にご参加ください。

- 長野会場 6月6日(水) ビックハット 15:00～18:30
8月2日(木) JA長野県ビル 14:00～16:00
- 松本会場 6月7日(木) ホテルブエナビスタ 15:00～18:30
6月23日(土) 松本オフィス 14:00～16:00
8月1日(水)
- 飯田会場 8月7日(火) 飯田文化会館 14:00～16:00

※日程や会場が変更する可能性もありますので、開催日が近くなりましたら、再度大学HPで日程の確認をお願いします。

上記の日程以外にも、松本オフィスでは皆さんの疑問や質問に個別に対応します。まずは、お気軽に松本オフィスまでご連絡ください。



オープンキャンパスを開催!

- ・事前申込不要
- ・学年不問
- ・入退場自由



大学キャンパスってどんな感じなの？
キャンパス周辺の環境ってどうなっているの？
そんなあなたの疑問、不安や悩みをスッキリと解決できるイベントがオープンキャンパスです。

今年も、春・夏・秋に開催され、大学生活や、キャンパスの雰囲気を実際に自分で体験できるように、学部学科別講義やキャンパスツアーなど、各回様々なプログラムをご用意しています。

オープンキャンパスは美浜・半田の両キャンパスで開催されますので、ぜひこの機会に自分の目で見て、大学の魅力を肌で感じ取ってください。

日程や詳細につきましては、大学HPをご覧ください。

- 速報 - 7月22日(日) OCバスツアー開催決定!

今年も、7月22日に開催される美浜キャンパス オープンキャンパスに向けて、バスツアーを開催します。

内容は、只今検討中ですが、在学生との交流やバスツアー参加者限定のオリジナル企画も考えています。この機会に、一足早く大学生活を体験しに行ってみませんか？皆さまのご参加をお待ちしています。



詳細は決まり次第、松本オフィスブログに随時掲載します。ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。



日本福祉大学 北信越センター松本オフィス

〒390-0815 長野県松本市深志1-1-24 中村不動産ビル3階
TEL (0263)31-9011 / FAX (0263)32-8018
E-mail e-matsumoto@ml.n-fukushi.ac.jp

日本福祉大学HP

<http://www.n-fukushi.ac.jp/>

松本オフィスBlog

<http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-matsumoto/>



松本オフィス